アジアオリンピック評議会加盟国との交流状況について回答

資料5－2

市名		交流先	交流内容
1	名古屋市	中国 南京市	【南京市との交流】 1972年の日中国交正常化や1978年の日中平和友好条約調印などを受け、友好都市提携の機運が高まる中、1978年10月には名古屋市長を団長とする名古屋市民の翼友好訪中団を北京に派遣。同団が北京滞在中に中国政府から南京市を名古屋市の友好都市としたい旨の提案を受けたことから、両市による協議を重ね、同年12月友好都市提携に至った。1978年の友好都市提携から、これまで毎年継続して行政課題に関するテーマを設定し、公式代表団を相互に派遣してきた。これにより、単に友好関係を深めるだけでなく、両市の市政運営全般にわたる意見交換が図られているほか、経済、文化、教育、スポーツなど多岐にわたる分野での交流が図られている。 しかしながら、2012年2月の名古屋市長の発言により、南京市から「公の交流の一時停止」が伝えられ、以前より交流のあった次の3点の事業について実施できていない。しかし、名古屋市としては交流の再開に向けて現在も働きかけを行っている。 ・名古屋まつりへの参加 南京市友好団が10月に開催される名古屋まつりに合わせて来名し、シスターシティ・フェスティバルや姉妹友好都市親善使節団歓迎レセプション、名古屋まつりパレードに参加。 ・ジュニアスポーツ交流 1984年から中学生を中心とした代表団を毎年交互にお互いの都市へ派遣するジュニアスポーツ交流を実施。 ・名古屋市鶴舞中央図書館と南京市金陵図書館との図書交換 金陵図書館と鶴舞中央図書館間の図書交換。1989年開始。
2	豊橋市	中国 江蘇省 南通市	昭和62年5月26日に友好都市提携を締結。 当初は豊橋市友好訪問団の派遣、南通市友好訪問団の受入を毎年行っていたが、平成22年度からは派遣と受入れを交互に行う。また、昭和61年には、豊橋市中学生海外派遣事業(豊橋市国際交流協会主催)による南通市訪問(現在は3年毎)を開始する。提携15周年にあたる平成14年度には記念訪問団を派遣し、南通市で友好提携15周年覚書に調印。その翌年から専門分野における相互交流を開始する。平成29年度には提携30周年記念事業を予定。今後益々の交流発展が期待される。 ＜参考＞ 1. 友好訪問団 友好交流を通じて相互理解を深め、国際親善・国際交流の共通認識を高めるため。交流団体と訪問団員とした友好訪問団を派遣・受入。 2. 専門分野訪問団 平成14年、友好提携15周年を記念した「覚書」により、平成15年度から広範な交流と専門分野での交流を進めることを目的に専門分野訪問団を派遣・受入。 平成15年度　太極拳指導者受入　　平成16年度　柔道指導者派遣 平成17年度　環境行政職員受入　　平成18年度　環境行政職員派遣 平成19年度　農業行政職員受入　　平成20年度　農業関係者派遣 平成21年度　医療関係者受入　　平成22年度　医療関係者派遣 平成24年度　博物館等行政職員受入　平成24年度　博物館等行政職員派遣 平成26年度　介護・福祉行政職員受入　平成27年度　介護・福祉行政職員派遣 平成28年度　教育・文化行政職員受入
		韓国 晋州市	平成4年7月22日に豊橋市教育委員会と晋州市教育長の間で友好提携を締結。 毎年、両市の小学生訪問団がお互いの市を訪問し、ホームステイの体験等を通じて、相互理解の深化を図る ＜事業概要＞ 時期：毎年 7～8月・3泊4日 人員：相互 児童20名・引率者3～4名 内容：表敬訪問・教育交流(学校訪問)・ホームステイ等

市名		交流先	交流内容
3	岡崎市	中国 呼和浩特市	呼和浩特市とは1987年（昭和62年）に友好都市提携を結んでおり、周年の年には記念事業として、代表団の派遣・受入れを行っている。 また、代表団の派遣に合わせて岡崎市国際交流協会主催の市民ツアー「友好の翼」の派遣も行っている。 平成29年度は、友好都市提携30周年にあたるため、代表団の派遣・受入れ、及び「友好の翼」の派遣を計画中である。 なお、青少年（中学生）の交流については、大気汚染と鳥インフルエンザのため、平成26年度から凍結している状況である。
4	一宮市	ウズベキスタン	・毎年、国際交流を担当する生涯学習課が、名古屋大学の留学生（3名）を招き、市内の小中学生との文化交流事業を実施している。また、国際交流運動会を開催し、ウズベキスタンからの留学生も参加している。 ＊フレンドシップ事業以来の交流パイプである、名古屋大学のウズベキスタン フレンドシップ協力会、法政国際教育協力研究センター研究員やウズベキスタン事務所長を通じて、名古屋大学院卒の駐日ウズベク大使館ハサノフ二等書記官に依頼し、8月31日（水）に一宮市長がウズベキスタン共和国トゥルスノフ ファルク大使と面談 （アジア競技大会に立候補している愛知県を応援するよう、大使に要請文書を手交）
		スリランカ	・スリランカ政府と関わりがある市民（スリランカ人）を通じて、消防署で廃車予定の中古自動車（救急車・消防車等）を、市内ライオンズクラブの支援を受けスリランカへ毎年のように寄贈している。 ＊5月26日（木）にG7拡大会合のために来日中のシリセーナ スリランカ大統領を市長が訪問
5	瀬戸市	韓国 利川市	平成13年に利川市で開催された「世界陶磁器エキスポ」に瀬戸焼振興協会が出展をしたのをきっかけに、利川市陶芸家の瀬戸市滞在制作や両市の相互訪問が行われました。平成18年4月に姉妹都市提携の調印を行い、その後、本市での「利川陶芸展」開催、「京畿道世界陶磁器ビエンナーレ」への参加等継続した交流が行われています。 姉妹都市提携10周年となる本年度においては、利川市博物館において、「瀬戸にやきもの展—卓越した技と美、瀬戸焼1,000年の歩み」が開催され、本市から公式訪問団が派遣されました。また、利川市より亀遊び保存会及び韓日親善協会を招待し、日本で初めてとなる「亀遊び」の公演が行われました。 詳細は別添参照。
		中国 景徳鎮	昭和51年に瀬戸市訪問団が景徳鎮を訪問したのを皮切りに両市の相互訪問が行われ、平成8年10月に友好都市提携の調印が行われました。その後は中学生の相互訪問や景徳鎮市で開催された「中国景徳鎮国際陶磁博覧会」への作品出展、市民訪問団の派遣などが行われています。 詳細は別添参照。
6	半田市	中国 江蘇省徐州市	1993年友好都市提携を締結 それ以降、文化・スポーツ交流を中心に民間交流を実施している。昨年は半田市からスポーツ交流団を派遣し、今年は、スポーツ交流団、書画交流団が徐州市から来半する。また締結以降継続実施している「半田市・徐州市書画作品展」は今年度20回目の節目を迎える。 また公式訪問団の相互訪問は周年事業において実施している。5年に1度のはんだ山車まつりにおいても訪問団を招聘し、交流している。 行政や体育協会、文化協会等、多様な主体が徐州市との交流には関わっている。
		ブータン王国	あいち万博時に1国1市町村フレンドシップ事業においてパートナーとなったブータン王国とは、民間交流が継続しており、相互訪問、ホームステイを通じて相互理解を図っている。昨年度はブータンから中学生と教師が半田を訪れ、今年度は半田市から市民訪問団がブータンを訪問した。 実施主体は半田ブータン青少年交流協会である。
7	春日井市		該当なし

市 名		交流先	交 流 内 容
8	豊川市	中国 無錫市新呉区	・毎年、友好都市・無錫市新呉区の小中学生と本市の小中学生の美術作品を交換し、展示している。 ・各年で市内中学生を友好都市・無錫市新呉区へ派遣し、学校での授業体験やホームステイを通じて交流している。また、派遣した翌年には無錫市新呉区より中学生使節団が本市を訪問し、学校訪問やホームステイを通じて交流している。
9	津島市		該当なし
10	碧南市		該当なし
11	刈谷市	中国 蘭州市	【日本刈谷・中国蘭州交流少年野球大会】 1987年から交流を図っている中国・蘭州市と交流少年野球大会を開催し、青少年に夢と希望を与え、国際意識の高揚を図り、国際スポーツ交流の振興に寄与するとともに、日中の友好関係の発展に寄与している。 【平成28年度実績】 ■日　時　平成28年8月11日(木)～8月19日(金) ■場　所　刈谷球場他 ■参加者 ＜中華人民共和国甘粛省蘭州市　選抜少年棒球隊＞ 役員・指導者・・・11名 選手・・・・・・・16名 ＜刈谷市選抜少年野球チーム他＞ 役員・指導者・・・約100名 選手・・・・・・・約550名
		インド	愛知万博のフレンドシップ相手国として平成19年に交流を行う。その後は、「ナマステ★インディアin KARIYA」というイベントにおいて、NPO法人日印交流を盛り上げる会の協力によりインド政府公認の団体であるICCR(インド文化関係評議会)から毎年舞踊団を招聘し、公演を行っていただいている。
12	豊田市	インドネシア バンドン市	西ジャワ州バンドン市と、地域課題解決のために都市間の相互連携を協議する交流
13	安城市		該当なし
14	西尾市		該当なし
15	蒲郡市		該当なし
16	犬山市	中国 湖北省襄陽市	友好都市 ・友好訪問団(襄陽市長行政関係者と経済人で構成)の受入・絵画交流・グリーディングカードの送付など
		韓国 慶尚南道咸安郡	姉妹都市 ・友好訪問団(咸安郡の行政関係者議会関係者で構成)の受入・絵画交流・グリーディングカードの送付など
17	常滑市	タイ マレーシア インド 中国	TSIE(常滑市内児童生徒国際交流推進協議会)の事業として、として以下を行っています。 ・相手校への訪問(夏季休業期間中) ・相手校の受入 ・教職員の交流 ※小学校で行っています。 常滑市としてはTSIEに補助金を交付し、事業の協力をしています。

市 名		交流先	交 流 内 容
18	江南市		該当なし
19	小牧市	韓国 安養市	小牧市内の児童と安養市の児童が相互に訪問し、ホームステイにより交流。異文化や異なる生活習慣への国際的な理解・認識を深めるとともに、両市の交流の礎とする。平成10年より実施し、これまでに約200名が参加。 (平成28年度実績) 対 象:市内小学校5・6年生の児童10名 (安養市側も日本での小学校5・6年生相当の年齢の児童) 日 時:平成28年8月 3日～ 6日※安養市へ派遣 平成28年8月13日～21日※日本へ受入 概 要:小牧市の児童10名と安養市の児童10名でペアをつくり、お互いの家庭へホームステイし合う。 その他:小牧市と安養市は、「姉妹都市」ではなく、「友好都市」の関係。
20	稲沢市	中国 赤峰市	平成元年5月16日、友好都市提携の調印を行って以来、農業、経済、教育を視察するための訪問団の受け入れや中国赤峰書画展、中国琵琶コンサートの開催、市内小学生の書道及び絵画の作品交流、日中友好交流都市卓球交歓大会への参加など様々な交流を行っています。 ※交流の状況 ・稲沢市から赤峰市へ 平成 元年 5月 友好都市提携調印団 平成 2年11月 日中友好交流都市卓球カーニバル(北京) 平成 6年 8月 友好都市提携5周年記念事業 平成 9年 8月 日中友好交流都市ジュニア卓球大会(北京) 平成11年 7月 友好都市提携10周年記念事業 平成14年 8月 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会(北京) 平成16年 7月 友好都市提携15周年記念事業 (記念植樹・記念碑除幕) 平成19年 8月 日中友好交流都市小学生卓球交歓大会(北京) 平成21年 7月 友好都市提携20周年記念事業(植樹活動) 平成24年 8月 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会(北京) ・赤峰市から稲沢市へ 平成 2年 5月 赤峰市農業代表団 平成 4年 1月 赤峰市海外経済貿易局員 平成 4年 5月 赤峰市郷鎮企業家考察団 平成 6年 4月 赤峰市代表団(友好都市提携5周年記念) 平成 8年 5月 赤峰市経済友好訪問団 平成11年 5月 赤峰市文化交流友好訪問団 (友好都市提携10周年記念) 平成16年11月 赤峰市友好都市代表団 (友好都市提携15周年記念) 平成21年11月 赤峰市友好都市代表団 (友好都市提携20周年記念)
21	新城市		該当なし
22	東海市		該当なし
23	大府市		該当なし

市名		交流先	交流内容
24	知多市	カタール	本市はフレンドシップ事業においてカタールのホスト国になり、万博終了後も市民主体の交流を続けることをうたった「友好を誓う覚書」を交わし、カタールとの交流を行う市民団体として「知多市カタール友好交流会」が発足し、現在も活動しています。 同交流会は、これまでに4回カタールを訪問し、当地での文化フェスティバルに参加し、日本や知多市のことを紹介する活動をする一方、カタールの文化を学びPRするため、市内外のイベントに出展したり、市内教育施設等において出前講座を開催するなどの活動をしています。 また本市においても、そうした活動をバックアップすべく、市制施行40周年（2010年）の年に「カタール国展」を開催するなど、文化交流を柱とする友好交流に努めており、カタールが主催するレセプション等に招待されています。 現在、2020年開催予定の東京オリンピックパラリンピックのホストタウン計画においてもカタールのホストタウンになるべく登録申請中です。
25	知立市		※市の事業としてアジアオリンピック評議会加盟国との交流はありません ただし、国際交流協会ではアジアオリンピック評議会加盟国に関わらず各国の留学生と文化交流を図ったり等細かな交流はあります。
26	尾張旭市		該当なし
27	高浜市	ブルネイ	中学生海外派遣事業 異文化を理解し、国際的な視野を広げるとともに、高浜市や日本のよさを見つめ直すことを目的に実施している中学生海外派遣。 今年は8月18日～25日に、高中生7人・南中生3人がブルネイ・ダルサラーム国を訪問しました。
28	岩倉市		該当なし
29	豊明市		該当なし
30	日進市	バングラデシュ	日進市国際交流協会が2014年から3年連続で物資支援を行っている。タオル・Tシャツ・文房具などをにっしん市民まつり（11月第2日曜日開催）において集め、愛・地球博開催時より親交の続く「バンサの会」を通じバングラデシュに寄附している。
31	田原市	韓国 銅雀区	平成18年度姉妹都市提携。 市長等公式訪問、市民海外派遣、民間交流（日韓親善協会）を実施。 直近では、平成24年度に市民海外派遣を実施。平成26年度に銅雀区の施設管理公団の職員が来訪。提携のきっかけとなった日韓親善協会と韓日銅雀区親善協会の相互交流は毎年実施されている。
		中国 江蘇省昆山市	平成5年に旧赤羽根町と友好都市提携。平成17年に田原市と再調印。過去には農業研修生受入、スポーツ交流、看護師研修受入等が行われた。 現在は公式訪問、市民海外派遣、中学生交流事業が行われているが、中学生交流は平成25年度に昆山市の中学生が来訪したのが最後となっている。 平成26・27年度に昆山市から行政関係者が来訪。
		ラオス サイタニー郡	愛知万博のフレンドシップ国。 平成20年6月にサイタニー郡教育事務所から2名を招致し、田原市教育委員会及び市内の小学校で研修を実施。平成19～21年度はJICAからの受託事業として、ラオスでのバラの栽培指導を実施。平成22～23年度は愛知県フレンドシップ継承交付金を活用しフォローアップを実施。 ラオスとの交流自体は継続中だが、具体的な交流事業は行われていない。
32	愛西市		該当なし
33	清須市		該当なし

市　名		交流先	交　流　内　容
34	北名古屋市	韓国 全羅南道務安郡	務安郡とは、平成20年7月9日に友好都市提携協定を締結しており、毎年、北名古屋市国際交流協会と共催で中学生国際交流プログラムを実施している。内容は、務安郡と北名古屋市の中学生がお互いの家庭で1泊のホームステイを体験し、家庭のありかたの違いを通して、文化、歴史、風土等にわたる相互理解への糸口をつかむ目的となっている。 また、様々な体験学習、施設見学なども織り交ぜて実施している。
35	弥富市		該当なし
36	みよし市		該当なし
37	あま市		該当なし
38	長久手市		該当なし